

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 スタースマイル		
○保護者評価実施期間	令和6年1月16日		令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和6年1月16日		令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種に加え、スタッフの人数が多いことから児童と関われる時間が多くある。	医療的ケア児を看護することができる。児童に一对一で介入することができる為、安心して活動を行える。	医療的ケア児や児童発達支援の受け入れを増やす。親子相談会や、親子で参加するレクリエーションなど保護者同士も関われる機会を増やしていく。
2	言語聴覚士による専門的な支援を受けることができる。	個別に応じた学習トレーニングとして、シール貼りやモール入れ、各リハビリで行っていることなどを取り入れ児童の状態に合わせ、パターンを増やして行っている。	制作や室内活動の充実
3	ホールなど広い環境での室内遊びや、屋外活動が多くある。	室内では、滑り台やトランポリン、おままごとなどの自由遊びや、戸外活動では公園や支援センターなど公共の場を使用して身体を動かしている。	室内や公園、支援センターでの活動の他に、地域の行事に参加したり、地域の方達との交流の場を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日は利用児の人数が少なく、同世代との関わりが少ない。	児童発達支援から放課後等デイサービスへと年齢が上がり、新しく児童発達児を受け入れできなくなってしまった。	さらに職員数を増やし、受け入れ態勢を整える。少ない人数の中でも、児童同士が関われる時間を増やす。
2	土曜日や長期休暇は、児童の人数が多くけがをする危険性が高い。	活発な児童やバギーを利用している児童がいる。	児童発達支援児と放課後等デイサービス児の過ごす空間を分けたり、時間ごとに活動内容を変更していく。
3	戸外活動は多いが、室内活動のバリエーションが不足している。	室内遊びがマンネリ化している。	色々な遊びや、制作ができるように職員同士で話し合い、アイデアを出していく。